

福田エグゼクティブディレクター パネルディスカッション趣旨説明

第1回サポーター会議のパネルディスカッションでも、ファシリテーターを務めさせていただきました福田でございます。今回も引き続きよろしくお願いたします。

前回のパネルディスカッション時には、航空会社、旅行会社、物流会社等々の皆様から、御意見をいただく中で、仙台空港民営化に当たっては、空港を東北のショーケースのように、地域と連携しつつ「東北らしさ」を見せる拠点すべきではないかという提案がありました。

また、空港に到着した人達が、東北の様々なエリアに広がっていけるように、鉄道やバスとの連携、そういったところが大事なのではないか。

さらに、これだけ多くのサポーターの方々の中で、どなたが空港を運営することになるかはわかりませんが、その方がハブになって、色々な企業の方々と連携をしていくことが大事ではないか、そうした提案・提言がなされたのが、第1回だったということです。

第1回の提言を受けて、第2回は何を議論していくのかという中で、1つは、提言のあった空港と地域、あるいは空港と様々な企業の連携というの、先行して日本で行われている地域がないのかという観点で行くと、会社管理空港として先行して様々な取組をされておられる中部国際空港、関西国際空港の「先輩」としての御意見をおうかがいするというの、非常に有意義ではないかと、そういう問題提起といえますか、アイデアが事務局の方々との議論の中で出てきたということで、今日はお越しをいただいて、取組について聴かせていただこうというところです。

加えて、多くのサポーターの方々に集まっておりますので、このプロジェクトのために何ができるかという観点で、サポーターの有志の方々にも、我々であればこういう観点で地域、空港のためにやれるのではないかというお話をさせていただくと、そういうことでお三方に来ていただいております。

形式としては皆様にそれぞれの取組をお話しいただいて、私の方から、その内容に対して質問をさせていただく形で進めさせていただきます。

2時間弱くらいの時間になりますけれども、お付き合いをいただきますよう、よろしくお願いたします。